

令和5年度 推薦選抜実施要項



愛知県立古知野高等学校

〒483-8331 愛知県江南市古知野町高瀬1番地

電話 0587-56-4767 (全日制職員室)

FAX 0587-53-0989

ホームページ <https://kochino-h.com>

令和5年度愛知県立古知野高等学校推薦選抜実施要項

1 出願資格

本校 { 地域ビジネス・ITビジネス科
生活文化科
福祉科 } の推薦選抜に出願することのできる者は、次の(1)

から(3)までの全ての条件及び「2 推薦基準」を満たし、中学校長（義務教育学校及び中等教育学校の校長を含む。以下同じ。）の推薦を得た者とする。

- (1) 令和5年3月に中学校若しくは義務教育学校を卒業する見込みの者、又は中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者
- (2) 本校当該学科を志望する動機・理由が明白・適切で、当該学科に対する適性及び興味・関心を有すること。
- (3) 人物及び学習成績が優れていること。

2 推薦基準

各学科共通で、以下の(1)から(4)に掲げるとおりとする。

- (1) 「㉞ 人物が優れており、運動、文化、芸術、奉仕活動等の諸活動（特別活動及び総合的な学習の時間における活動を含む。）のいずれかにおいて優れた能力・適性及び実績等を有する者」として、本校当該学科の教育課程を履修する学力を有するとともに、次の事項のいずれかに該当すること。

ア 運動の分野で優れた能力・適性及び実績等を有する者

- (ア) 体育的部活動で部長、副部長をつとめた者
- (イ) 体育的部活動で3年間意欲的に活動し、部活動に貢献した者
- (ウ) 管内競技大会で上位入賞した者、西尾張地区大会、愛日地区大会、名古屋市総合体育大会、県大会、東海大会、全国大会に出場した者、又は出場を目指して努力した結果、それと同等の成果が認められる者、ただし、団体種目は選手として登録された者
- (エ) 上記の事項に準ずる顕著な成果が認められる者

イ 文化、芸術、奉仕活動等の分野で優れた能力・適性及び実績等を有する者

- (ア) 文化的、生産的部活動で部長、副部長をつとめた者
- (イ) 文化的、生産的部活動で3年間意欲的に活動し、部活動に貢献した者
- (ウ) 校外コンクール（吹奏楽、美術、書道、作文、読書感想文等）において上位に入賞した者、又は出場を目指して努力した結果、それと同等の成果が認められる者
- (エ) 英検4級以上を取得した者、又は4級の取得を目指して努力した結果、それと同等の成果が認められる者
- (オ) パソコン検定・ワープロ検定・珠算検定のいずれかの3級以上を取得した者、又は3級の取得を目指して努力した結果、それと同等の成果が認められる者
- (カ) 生徒会の役員、議員及び学級の室長、副室長をつとめた者
- (キ) 奉仕活動等において継続的に努力し、顕著な成果をあげた者
- (ク) 上記の事項に準ずる顕著な成果が認められる者

- (2) 「㉟ 人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」として、本校当該学科の教育課程を履修する学力を有するとともに、保護者又は志願者が「令和5年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」に示す「『恵まれない環境』に該当する事由及び証明する書類」の事由のいずれかに該当すること。

- (3) 「㊱ 人物が優れており、『調査書』の『学習の記録』が優秀で、学習活動において他の模範となる者」であること。

(4) 本校の推薦選抜において特に重視すること。

ア 基本的な生活習慣が身につけており、出席状況が良好であること

イ 学校の諸活動に強い意欲や関心を持ち、積極的かつ継続的に取り組めること

3 合格者数

推薦選抜の合格者は、

本校 { 地域ビジネス・ITビジネス科 }
 { 生活文化科 } の募集人員の30%程度から45%程度とする。
 { 福祉科 }

なお、「人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」の募集については、当該学科の募集人員のおおむね5%とし、上記に含む。

4 出願の手続き

出願に当たっては、「推薦選抜入学願書」、「調査書」、「推薦書」等の必要書類を、次の期日に本校に提出する。

令和5年2月1日（水）及び同年2月2日（木）

受付は、2月1日（水）は9時から16時まで、2月2日（木）は9時から15時までとする。（郵送による場合も、提出締切日時までに必着のこと。）

5 面接の実施期日

令和5年2月6日（月）

なお、集団面接で行う。

6 合格者の発表日時及び方法

令和5年2月8日（水） 14時

ウェブページ及び掲示により合格者を発表し、中学校長を通じて本人に通知する。

地域ビジネス・ITビジネス科 スクール・ポリシー

- 1 育成を目指す資質・能力に関する方針
 - ビジネスに関する専門的な知識と技術を身に付け、地域や産業界の発展に貢献できる人
 - 地域や産業界の課題解決に向けて、多様な人々と協働できる人
 - 実際のビジネスに興味をもち、実践的・体験的な学習活動に取り組むことができる人
 - ビジネスアイデアを考案したり、地域や産業界へ提案したりすることができる人
- 2 教育課程の編成及び実施に関する方針
 - ICTを活用する設備等を整備し、地域産業を支える人材育成に必要な実習を行います
 - 地域や企業の方と協働して、課題解決に向けて取り組む活動を充実させます
 - 企業と連携した魅力ある商品及びサービスの開発など、実践的学習活動を充実させます
 - ペアやグループでの活動を取り入れた主体的・対話的で深い学びを実践します
- 3 入学者の受入れに関する方針
 - ビジネスに関心があり、積極的に行動できる人
 - 地域貢献や企業と連携した活動に興味のある人
 - ICTやプログラミングに興味のある人

生活文化科 スクール・ポリシー

- 1 育成を目指す資質・能力に関する方針
 - 家庭に関する専門的な知識と技術を身に付け、社会で幅広く活躍することができる人
 - 多様な価値観を尊重し、他者とともに課題を解決することができる人
 - 創造性があり、経験したことのない状況でも自律的・主体的に行動することができる人
- 2 教育課程の編成及び実施に関する方針
 - 被服・食物に関する実習を重視し、1年生から毎週実習を実施します
 - 実習科目を中心に分割授業を実施し、個に応じた指導を重視します
 - 「課題研究」では4講座を開設し、自ら計画し、考える課題解決型の学びを実現します
 - ボランティア活動などの交流を通して、コミュニケーション能力を高める家庭クラブ活動を実践します
 - 外部講師を招いた講習会の実施、キャリア教育の一環としての就業体験、資格取得・各種コンクールへの挑戦など様々な取り組みを行います
- 3 入学者の受入れに関する方針
 - 食物・被服に関して興味・関心をもち、何事も吸収しようとする意欲のある人
 - 学業・部活動だけでなく、ボランティア活動などに取り組みたいと考えている人
 - 知識・技術の習得に向けて、根気強く取り組める人

福祉科 スクール・ポリシー

- 1 育成を目指す資質・能力に関する方針
 - 福祉・介護の専門的な知識と技術に基づき、状況に応じた介護を実践できる人
 - 互いの価値観を認め、相手の立場に立って考えられる人
 - 多様な人と関わるためのコミュニケーション方法を身に付け、実践できる人
 - 福祉・介護の専門職として、課題解決に向けて他者と協働できる人
 - 地域に貢献しようとする強い意志を持ち続けることができる人
- 2 教育課程の編成及び実施に関する方針
 - 個に応じた指導を行い、全員の介護福祉士国家資格取得を目指します
 - 「課題解決型学習」を推進し、課題解決能力や協働的態度を育成します
 - ペアやグループでの活動など対話的な学びを重視します
 - 介護実習の学びを充実させ、質の高い専門的知識・技術の習得を目指します
 - 地域を学びのフィールドとし、地域福祉の推進を目指します
- 3 入学者の受入れに関する方針
 - 福祉や介護に関心がある人
 - 自分と周りの人を大切にできる人
 - 何事にも向上心をもち一生懸命取り組める人